



ウチダザリガニってなあに？ ～外来種を見て 触って 学ぼう～

市では、市動植物調査研究会と協力し、外来種の防除活動に取り組んでいます。9月24日に鳥野目河川公園で北米原産・ウチダザリガニを触って学ぶイベントが行われ、親子13組29人が参加しました。ウチダザリガニは体長が最大で15cmと大きく、繁殖力も高いのであつという間に他の種を駆逐してしまいます。園内を流れる川で、魚の切り身やスルメなどを餌に「親子ザリガニ釣り」にチャレンジ。1時間で約60匹が捕獲されました。



塩原の歴史と魅力を詰め込んで ～那須野が原博物館 特別展～

古くから、良質の温泉地として知られる塩原温泉。景勝、歴史、文学や美術面の所蔵資料などを展示し、塩原の近代以降の変遷や魅力を伝える特別展「塩原温泉ストーリー」が那須野が原博物館で開催中です(11月27日まで)。見どころは、風情あふれる絵葉書・銅版画と、画家・山元春孝の塩原を描いた日本画。塩原在住で、9月25日の同館職員による展示解説(写真)を聞いた男性は「地元の違った一面を知って、感動した」と話していました。



思いを襷に込めて ～第12回那須塩原市駅伝大会～

駅伝シーズンが開幕。9月24日には市駅伝大会が開催され、一般の部29チーム、高校の部4チーム、中学混合の部24チームが1本のたすきに思いを込めて力走しました。JAなすのA、那須拓陽高校C、三島中学校Aがそれぞれの部門で優勝。また、今年度も市内小・中学校に勤めるALTチームが参加し、大会を盛り上げました。速さだけでなく、チームのためにたすきをつなぐ楽しさを感じながら走る姿は、胸を熱くさせるものがあり、会場的那須野が原公園をいっそう爽やかにしてくれまし



(↑) 沿道の応援の声が選手たちに力を与える
 (←) 最後の最後まで力を出し切り、次のランナーへ思いを託すたすきリレー



(←) 優勝した三島中Aチームのアンカーを務めた網代匠さん(3年)。「昨年度のリベンジを果たせて嬉しい。地区駅伝以降もみんなですすきをつないで、全国への切符を手にしたい」と今後の抱負も語ってくれた。三島中は今大会1位～3位を独占。



合唱部が共演 みんなで奏でるハーモニー ～中学校合唱フェスティバル～

今年で3回目となる市中学校合唱フェスティバルが9月25日、黒磯文化会館で開催されました。17日の関東合唱コンクールで輝かしい成績を残した三島中学校(同声・金賞)や黒磯北中学校(混声・金賞)、西那須野中学校(同声・銅賞)も登壇。最後を飾る市内9校373人による全体合唱はまさに圧巻で、舞台のどん帳が上がった瞬間に観客からは歓声が。あどけない顔立ちからは想像もできないほど、力強く伸びやかなハーモニーが会場に響き渡りました。



季節の移ろいを探しに 晩夏の森へ ～ビジター遊歩道自然散策～

塩原の四季折々の自然を楽しもうと、塩原温泉ビジターセンター主催の遊歩道自然散策イベントが毎月行われています。9月24日には市内外から13人が参加し、センター周辺の前山国有林を中心に計2.5kmのコースを歩きました。森に入って耳を澄ますと色々な音が聞こえてきます。川のせせらぎ、風で揺れる木々、鳥のさえずり、土を踏みしめる足音…皆さんも一度味わってみてはいかがでしょうか。



時代を超えて受け継がれる開拓の歴史 ～劇団なすの 公演～

9月18日、三島ホールにて今年で17回目の公演となった創作劇「那須野の大地」が披露されました。平成12年に結成され、現在は総勢60人の劇団員が集う「市民劇団なすの」。6歳から71歳までの幅広い年齢層の市民が、仕事や学校の合間を縫って、日夜稽古を重ねてきました。5月の稽古開始からこの日を迎えるまで、稽古回数はなんと50回。流した汗の一粒一粒が、地域の歴史を紡ぎ、観る人の心を動かします。



たくさん食べることができるかな？ ～流しそうめん体験～

9月10日、三島神社の境内で子どもたちが流しそうめんを体験しました。これは、地元のボランティアが中心となって活動している自然体験塾で行われているもの。参加した子どもたちは中学生ボランティアと一緒にダンスを楽しんだり、流しそうめんを使う箸を作ったりした後、流しそうめんにチャレンジ。参加した男の子は「流しそうめんは初めて。すごく楽しい」と口いっぱい麺をほおぼっていました。